

令和3年度 草津市障害者孤立化防止事業の報告

1. 事業の目的

障害者とその家族が地域で孤立することなく生活を送っていくため、孤立を防止する活動を行うとともに、地域で障害や障害者についての理解を促進することを目的とする。

2. 事業の対象者

障害者と高齢者で構成される世帯、障害者の単独世帯等、特に支援が必要と思われる世帯

3. 事業の内容

- (1) 孤立が懸念される障害者世帯の訪問活動
- (2) 障害者を養護する者が気軽に参加し、懇談できるサロンの開催
- (3) 支援者・各支援主体等への啓発活動およびネットワークづくりの検討

4. 事業参加団体

- ・ 特定非営利活動法人草津手をつなぐ育成会
- ・ 草津市肢体不自由児者父母の会
- ・ 草津市精神障害者家族会ひまわりの会
- ・ 草津市民生委員児童委員協議会
- ・ 草津市社会福祉協議会
- ・ 草津市健康福祉部障害福祉課
- ・ 特定非営利活動法人草津市心身障害児者連絡協議会（事務局団体）

5. 活動内容

(1) 訪問活動

◆孤立している世帯の考え方について

明確な基準は設けていないが、物理的に独居の方だけでなく、支援機関とはつながっているものの、地域での見守りが必要であると考えられる方についても対象者として考える。

①訪問活動について

これまで継続して訪問している世帯を中心に27世帯を対象者として、「訪問」「電話」等の方法で実施した。

②訪問担当者については

それぞれのケースに合わせて選定し、各家族会検討委員、事務局が行った。

【訪問活動の評価】

訪問を継続していく中で、少しずつ安心感や勇気が蓄積され、信頼関係が構築されてきている。活動後の訪問員会議では、対象者の現状把握と情報共有を元に孤立化のリスク評価を判断したうえで、次年度に向けた訪問方法や担当者、改善点や課題等を話し合った。

まずは、地域から気になる世帯を受け止めていくことでニーズを把握し、いかに繋がりを取得して日常的に話せる関係性をつくれるか、ということが今後の大きなテーマである。

(2) サロン活動

◆ つながりサロン

障害者とその家族が気軽に話をしたり相談できる場を提供し、互いに交流を深めることにより障害者貧困・孤立・孤独を防止する。

対象者：障害者とその家族、障害の有無に関係なく関心のある方

開催時間：10:00～12:00 予約不要、出入自由

◆ ふくふくサロン

各支援主体や関係機関を交えた座談会を開催し、情報共有や支援者等への啓発およびネットワークづくりをする。

対象者：家族会、民生委員、地域包括支援センターおよび障害福祉に関心のある方

開催時間：10:30～12:00 申込み制

①第1回

日時 令和3年11月9日(火)

場所 草津市立市民交流プラザ(フェリエ南草津)

参加者 つながりサロン：6名、ふくふくサロン：29名 計35名

②第2回

日時 令和3年12月14日(火)

場所 草津市総合交流センター(キラリエ草津)

参加者 つながりサロン：12名、ふくふくサロン：45名 計57名

③第3回

日時 令和4年1月13日(木)

場所 常盤まちづくりセンター

参加者 つながりサロン：3名、ふくふくサロン：25名 計28名

④第4回

日時 令和4年2月4日(金)

場所 志津まちづくりセンター ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【サロン活動の評価】

つながりサロンでは、草津市障害福祉課の地区担当者が来場者の悩みや相談を聞き、それに応じ

た情報提供や具体的な提案をすることで、参加者からは話を親身に聞いてもらえて良かった等の声を多くいただいた。

ふくふくサロンでは、民生委員に加え、地域包括支援センターや関心のある方からの申込等、様々な立場の方にご参加いただいた。6名程度のグループに分かれ、それぞれの立場で思いや現状を話し合うことにより、情報共有や相互理解のきっかけとなる有意義な場となった。